

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

# 三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

## ■コミュニティだより

VOL. 73 (年4回発行)

■発行日 平成26年9月30日  
 ■発行 三春まちづくり協会  
 ■編集 三春まちづくり協会広報部  
 三春町大字貝山字泉沢100-1 (旧若駒寮)  
 TEL/FAX (62) 3988

### 『教育懇談会の開催』

### 懇談会レポート

七月十日、まほら学習室において、他地区に先がけて三春地区での教育懇談会が開催されました。

町からは遠藤教育長、教育課職員、教育委員、三春小学校長が出席され、町民約三十名が参加しました。

今回の教育懇談会の趣旨は、新三春中学校開校から一年が経過し、三春小学校では仮校舎での授業が行われるなど、町内児童生徒の学習環境が大きく変化してきたことを受け、町内の幼稚園・保育所、小・中学校の現状を報告し、地域住民の方々の考えや意見を伺うというものです。

#### 【久保副協会長あいさつ】

今日は三春まちづくり協会主催の教育懇談会を開催いたしましたところ、大勢の皆様にお集まりいただきました。また、教育長さんはじめ教育課の皆さんにおいでいただき、ありがとうございます。

六月の三春小の運動会を見させていただきましたが、子どもたちが皆元気で明るく素晴らしい運動会でした。特に小学一年生が頑張っている姿に感動しました。三春町ではたいへん良い教育をしてくださっているんだなと感じました。今日は懇談会ですので、町民の皆様のご意見をぜひお聞かせください。

#### 【遠藤教育長あいさつ】

東日本大震災から三年四カ月が過ぎました。町では防災計画、防災教育の見直しを進めており、三春小学校の改築も進んでいます。原発事故による放射能問題で、子どもたちの外での活動が制限され、運動不足による肥満も問題となっています。新三春中学校も開校一年が経ち、親と生徒が今の中学校をどのように感じているかの調査もいたしました。少子化は全国的な問題です。その他第一保育所の公設民営化などについてこれからご説明をいたします。三春町の教育の現状をご理解いただき、皆様のご意見をいただきたいと思

いますので、どうぞよろしく願います。



#### 【資料による説明】

※紙面の都合で、項目のみ紹介します。当日の資料は三春まちづくり協会事務局にありますので、ご希望の方はご連絡をください。

- ①平成二十六年度三春町立小・中学校の現状 (各学級の児童・生徒数)
- ②保育所・幼稚園の現状
- ③学校等における放射線対策事業について
- ④給食の食材のセシウム検査
- ⑤地下水・ブルー水の継続検査
- ⑥WBC (内部被ばく検査での白血球数) の測定結果

・OSL線量計 (個人線量計) の測定結果  
 ③冷房設備の設置状況について  
 ④遊具の更新について  
 ⑤学校施設の耐震化について  
 ・耐震判定結果および耐震化補強工事予定年度  
 ⑥三春中学校の学校評価 (生徒・保護者のアンケートより)  
 ⑦認可保育所 (第一保育所) の公設民営化 (指定管理制度の導入) について  
 ⑧保育料減免等への取り組みについて  
 ⑨小学生の肥満について  
 ・平日のテレビ、ビデオの視聴時間  
 ・ノードイスプレーデー  
 ・肥満の主な原因  
 ⑩平成二十七年度〜三十二年度就学児童数 (予定) 数

この後、太田三春小学校長から三春小学校の現状についての説明 (重点目標への取組み状況、各大会の成績等) と、仮校舎での授業に際し、地域の皆さんにお世話になったことへのお礼の言葉がありました。

【会場からの質問、意見】  
 この後、質問、意見交換となりました。その中のいくつかを紹介いたします。

Q 特別支援学級の児童・生徒数が以前に比べ増えているのではないかと聞かれました。  
 A 知的支援と情緒関係の支援をしている。保健センターでの検査等により、



以前より早い段階から支援する体制が整ったためとご理解いただきました。

Q 町内の道路で暗いところが多く通学が心配だ。  
 A 新三春中学校開校に伴い、パイパスと馬場に防犯灯を設置した。予算の関係もあるが、通学路の安全を優先して防犯灯の設置を進めていく。県道についても要望をしている。

Q 放課後に遊んでいる子どもの姿が見えない。室内でゲームをしていることが多いと思うが、現状はどうなのか。子どもたちが楽しく遊べる場所が無いことが問題だと思ふ。  
 A 四年生以上は合奏合唱、五・六年生は陸上など特別部活があり、下校時間が四時から五時になり、その後、塾やスイミングに通う子どもも多い。低学年は、まほらっ子教室、児童館の利用が多い。外

で遊ぶということが少なくなっているのは事実。夏休みに向けて子どもたち同士で遊ぶような指導もしていきたい。

(会場からの意見) 高学年になると、部活動、スポーツなどで子どもたちは大変忙しい。目標を持ってそれに向かっているようになるので、外で遊ぶのは低学年までではないかと思ふ。

Q ベクレル調べるセンサーに食品を刻まずに直接測れる測定器を導入できないか。  
 A 導入計画はある。ただ測定精度としては刻む方式が優れている。

Q 旧三春中学校の建物の利活用について。  
 A 財務課が窓口となって検討している。耐震上問題のない部分は残すべきと思ふが、今後町民による検討委員会を設置する予定。

Q 中学校で不登校の生徒がいるらしいが、その対策はどうなっているか。  
 A 不登校の事例はそれぞれ事情が異なり、家庭との連携が大切になる。対策として、スクールソーシャルワーカーを配置して、福祉とつなげていく。三春中にはスクールカウンセラーがおり、毎週金曜日に相談を受けている。

### 協会活動だより

#### 福祉部会

##### 施設ホーム視察研修

七月八日、福祉部会事業計画の一環である施設ホーム視察研修に参加しました。三春町熊耳字神山地区内に今年四月に開所した特別養護老人ホーム「ほほえみの里」で先ず、施設長さんから施設の概要説明を受けました。施設のモットーは家族、地域の皆さんに安全、安心と住み慣れた環境を提供することで、地域密着型介護老人福祉施設サービスの向上を図ることを目標として楽しく明るい施設を目指すというものでした。施設の定員は三〇名ですが入所待ちの人が約五〇名程いるそうです。

その後、入居者の人達と交流しましたが、たまたま訪問していた南京玉すだれの演奏、口笛演奏のボランティアの方々、そして最高齢百二歳のお婆ちゃん達とゲームや昔懐かしい歌など一緒になって楽しいひとときを過ごしてきました。



私は老人ホームには、何となく暗いイメージがありましたが、この度の施設は施設長さん始めすべての職員の方々の温かい笑顔、そして開放的な雰囲気は素晴らしいと感じました。少子高齢化社会になつてわが三春町に老人に優しい施設が沢山出来ることを願いながら「ほほえみの里」を後にしてきました。

(大津 早苗)



#### 環境部会

##### 「除染廃棄物仮置場」視察研修

六月の例会で研修は、町内除染廃棄物の仮置場(北部三地区・三春地区・中妻地区・中郷地区・岩江地区)に決まりました。

七月十六日(水)研修の日がやってきました。役場の係りの方の案内で、現在工事が完成している三春地区、中妻地区、北部三地区(沢石・要田・御木沢)の

順に視察をしてきました。保管方法は山の斜面を平らにして、側溝のようなものを作りその中にジャリを敷きつめた上に浸出水構を敷きつめた上に保護マットを敷きつめた上に浸出水構を作りその上に保護砂(三センチ)を入れて出来上がった敷地、その上に耐候性大型土のう(除染廃棄物を入れた物)を積み上げて遮水シートで覆い保管しています。

浸出水については、月一回水の放射性物質検査を実施、さらに周囲に押さえた土のう(新しい土)を設置し毎週一回の空間線量の測定を実施しているとの事です。北部三地区では平成二十五年四月より測定しており、現在まで地下水、空間線量の測定結果は全て、検出下限値未満でした。

三地区を視察してきて、大勢の土地提供者、大がかりな工事、除染作業に携わった方々、測定続けていく方々のご苦労に深く感謝しております。ありがとうございました。



(大内 正子)

#### 「シリーズ⑥」《初心に聴く》

前号に引き続き、新任委員の方々から寄せられた『まちづくり協会活動に携わる初心』を掲載します。

##### 環境部会 石橋偉光さん

三春町は自然が豊かで、山菜が豊富にあり四季折々、自然の恵みを満喫できる町です。ところが原発事故以来、私は好物である山菜やキノコを食べるのをためらうようになりました。

まいりました、これからどうなるのでしょうか、一日も早くみんなが心から安心して暮らせるようになることを切願っています。

今回、縁があり「まちづくり協会」環境部会委員となりました。初めての事なので少々とまどっています。通学路の放射線測定を行い、と聞いていますので、部会活動を通して誰もが暮らしやすい町、そして早く原発事故以前の自然環境に取り戻せるよう、非力ながらも少しでも貢献できたいのかと、新規会員になる

自分はまだ、四十数年の日々しか歩んでおりませんが、最近のテレビ・ラジオ等で流れる事象を見ますと、昔に比べ今は物質、情報こそ豊かになったものの、人の心も豊かになったのかという点では疑問に思っている次第でございます。そもそも、この想いも豊かな情報量のゆえに起きてしまった事なのかもしれません。

街並部会 嶋田 昇映さん  
今年度より「三春まちづくり協会」町並部会の会員になりましたが、突然の会員でただ戸惑う限りでございます。何も分からないままスタートを切りました。部会の活動としては、石柱の設置・視察研修などにも参加したと思っておりますので宜しくお願いします。

私が、まだ若い頃に三春町の町名の由来について在る老人からこんな話を聞ききました。▼老人の話では、その昔この地に、見張所が出来てから町が出来たそうです。ですから「みはる」なのだそう。梅・桃・桜が一度に咲くから「三春」なんて俺が聞いたのは戦後の話だ、との事であった。▼狭い町に兵士である武士が多くいて治安が良く馬車などに遊郭などがあり、なんとなく町としてなりたつたそう。ただ見張所なので、大きな合戦などは起らず平和な町だったそうである。▼その見張所が役に立ったのは太平洋戦争末期の敵機来襲で、町民に逸早く知らせたことぐいかなと知られた老人は話してくれました。私はその話を聞いて何となく納得しました。否定出来ない話だと思いました。▼城山に登ると見晴しがよく見張所に最適な場所であったことがよくわかる。遠く、安達太良から本宮、日和田・郡山を見渡せる城山の見張所からの眺めを昔の人達も見ていたものかと思うと……▼四、五十年前の事なので老人の話は本当かどうか今となってはわかりませんが、これからはこの見張所が町民の憩いの場所としていつまでも平和な公園でいてもらいたいものである。(河口)

**“第11回三春秋まつり & 第7回石柱拓本ラリー開催のお知らせ”**

街並部会  
恒例の“三春秋まつり”が下記により開催され、三春まちづくり協会も協賛事業として街並部会が中心となり、石柱設置活動の紹介と石柱拓本ラリーの開催を企画し参加の予定です。

記  
☆期日：平成26年11月1日(土)～2日(日)  
両日とも午前10時～午後3時30分  
☆会場：三春町運動公園駐車場及び町民体育館  
☆内容：協賛各団体による陳列・即売・イベント等  
(詳しい内容は「広報みはる」・開催チラシ等で案内されます)  
— 町民の皆さん、是非ご参加ください —

**編集後記**

「三春わが街」第七十三号  
発行日 平成二十六年九月三日  
発行 三春まちづくり協会  
編集 三春まちづくり協会  
広報 部会  
三春町立市民会館(〇一六二)三九八八